

大津市企業局建設工事における遠隔臨場及び工事管理情報システムの試行について

～受発注者の作業効率化を目指して～

[主旨]

建設業界においては、労働者の高齢化と若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題となっており、働き方改革や生産性向上などによる労働環境の改善、魅力向上・イメージアップが求められています。

これらのことから、大津市企業局では受発注者の作業効率化を目指し、建設現場の生産性向上に向けた取り組みとして、『建設工事における遠隔臨場』及び『工事管理情報システム』を令和5年12月以降、試行します。

建設工事における遠隔臨場

従来、現場で立ち会っていた段階確認などの監督・確認業務を、受注者が動画撮影用カメラにより撮影した現場の映像、音声にてWeb会議システム（Webex、Zoom、LiveBiz等）を利用して遠隔で行うものです。

※LiveBizは大津市企業局が導入している映像通話システムです。

- 現場の段階確認に伴う手待ち時間が削減できます。
- 方式：受注者がウェアラブルカメラ等により撮影した映像と音声をWebにより発注者へ同時配信を行い、双方向の通信によりビデオ通話形式で確認を実施するものです。

[リンク先：大津市企業局「建設現場の遠隔臨場試行マニュアル」](#)

工事管理情報システム（滋賀県工事管理情報システム）

従来、書面により受発注間で発生していた「工事打合簿」、「履行報告書」、「立会願」の書類などを、インターネットを介して提出・決裁および共有するシステムです。

- 帳票処理や情報共有の迅速化、また、紙媒体の受け渡しに伴う負担の軽減等、建設現場における生産性の向上が期待できます。
- 方式：サービス事業者（滋賀県建設技術センター）が提供するソフトウェア機能でインターネットを通じて利用するASP方式です。

[リンク先：大津市企業局「工事管理情報システムの利用マニュアル」](#)

[受注者希望型]

今回の試行では、受注者から遠隔臨場及び工事管理情報システム利用の要望があり、受発注者協議が整った工事について、費用を受注者に全額負担いただいで実施します。

《お問い合わせ先》企業局企業総務部工事監理課

